

聖路加看護大学紀要の第 40 号を記念して

聖路加看護学園名誉理事長 日野原 重明

聖路加看護大学紀要は、1973（昭和 48）年に第 1 号が発行されて以来、今日まで年度ごとに聖路加看護大学の教職員の研究業績や教育指針、および学生の教育状況をまとめて紹介してきましたが、このたび第 40 号を発行するに至りました。

聖路加看護大学が聖路加国際病院付属高等看護婦学校として誕生したのは 1920（大正 9）年でした。その後、聖路加女子専門学校から 1954（昭和 29）年の 3 年制の聖路加短期大学を経て、4 年制の聖路加看護大学となったのは 1964（昭和 39）年、本年はそれから 50 年というもうひとつ記念すべき節目の年にあたります。

私は 1974 年に聖路加看護大学の学長に就任し、1984 年からは理事長を務めてきましたので、本紀要は私の責任において毎年発刊されてきた歴史をもちます。

本紀要は日本全国の諸大学に寄贈されており、本大学の研究および教育の内容や実績が広く公表され、関係者の評価を受けてまいりました。

大学としての 50 年の歴史を踏まえ、今般第 40 号となる紀要が発行されたことは非常に意義深いものと思われます。

私は 2012（平成 24）年 3 月に理事長の職を辞しましたが、私の役を継がれた福井次矢理事長はじめ井部俊子学長、そして今号の紀要委員長を務められた伊藤和弘教授、その他関係教職員の働きによって本紀要がますます整備されて発行されたことを誠にうれしく思う次第です。

